

# 棚田と生きる

たかはし  
高橋の棚田（尾花沢市）



雪まつり（高橋）



東北中央自動車道尾花沢 IC から車で約 20 分。

棚田を守ることは地域を守ること

棚田を大切に保全され、維持されてきたからこそ、今の棚田が存在する。しかし、担い手の高齢化や、減少が著しい今、棚田を未来へつなぐためには、地域に応じた保全管理が、重要性を増している。尾花沢市にある二つの棚田、「高橋」「明光寺」は近距離にありながら、それぞれ、特色のある保全管理が行なわれている。

棚田を守ること、地域が守られると考える「高橋」では、季節毎、棚田を活かした、イベントを開催している。老若男女が棚田に集い、ふれあうことで、地域が元気になっている。地域活動をとおり、棚田への愛着が育まれ、保全活動が定着している。

## 棚田の保全



みょうこうじ  
**明光寺の棚田（尾花沢市）**



**保全活動（明光寺）**



## 企業による保全

一方、耕作自体が難しい状況になりつつあった「明光寺」では、中間直接支払交付金の構成員として、地元企業が参入。高齢化等により耕作できなくなった農地を、企業が一手に引き受け耕作を続行している。また、草刈りや、水路の泥上げ等の、共同活動についても、全面的にバックアップすることで、棚田を守りつないでいる。

## 未来につなぐ

どちらの地域も棚田との生活に誇りを持っており、棚田への想いは強い。地域一体型の保全と、地元企業の共助による保全、棚田の守り方は地域によって千差万別。地域外からの協力を得るなど、広い視野で考えることも選択肢としつつ、それぞれの地域に合った保全管理を見つけていることが、未来へ向けた一歩となる。